

修士論文（要旨）
2018年1月

大一統思想と「一つの中国原則」
—中台関係における伝統的な政治思想の影響について—

指導 加藤 朗 教授

国際学研究科
国際協力専攻
216J1052
劉 警瑜

Master's Thesis(Abstract)
January 2018

The "Great Unification" and the "One China Principle": The Influence of Traditional
Political Ideology on the "Taiwan Issue"

Jingyu Liu
216J1052

Master's Program in International Cooperation
Graduate School of International Studies
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Akira Katou

目次

序章	1
第1章：大一統思想について	7
1.1 大一統思想の誕生と発展	7
1.2 大一統思想の歴史的な価値について	11
1.3 大一統思想の現代的な価値について	12
1.4 大一統思想の政治的な影響について	13
第2章：「一つの中国」原則に関する中台の思惑	15
2.1 中華人民共和国（中国）に於ける「一つの中国」政策	15
2.2 中華民国（台湾）に於ける「一つの中国」原則	16
2.3 中台に於ける「一つの中国」原則の定義の相違について	17
2.4 「一つの中国」原則の堅持——「大一統」にこだわる中国側の思惑	17
2.5 「正統」への執着——台湾の「一つの中国」原則	20
第3章：「脱中国化」が進む台湾の主体意識	22
3.1 変質する「一つの中国」原則	22
3.2 政治文化の「脱中国化」現象と台湾の主体意識	23
3.3 文化教育の「脱中国化」現象	26
3.4 「脱中国化」——大一統思想から背を向ける	26
終章	29
参考文献	I

研究要旨

【問題の所在】

台湾の馬英九政権時期、中台関係は一旦安定したものの、民進党が政権を掌握した後、急激に悪化した。蔡英文総統は「一つの中国原則」を承認する「九二共識」を認めず、前政権と違い独立傾向が高く、台湾を主権国家にするような振る舞いは、中国側の激しい反発を招いた。中台間の政治的交流は断つ、民間のまで影響が出る。

中台関係の変化は、双方の人民に多大な影響を与え、注目されている。そのため、「一つの中国」原則に関する研究は、中台関係の将来を考える重要な一環となる。

そこで、本論では、大一統思想の分析枠組みを用いて、「一つの中国」原則について考察する。

【研究意義】

中台関係における「一つの中国」原則の先行研究は、様々な視点で行われているが、中国の伝統的な政治思想の視点で「一つの中国」原則を解釈する研究は少ない。大一統思想で「一つの中国」原則に当てはまる研究はあるものの、大概の研究は「平和的統一、一国両制度」に焦点を当てており、中台関係にではない。故に、本論では、大一統思想の角度から「一つの中国」原則について考察する。中台の今後を解明するには、本論は大きな意義がある。

【研究方法】

本論はまず、大一統思想が、本文の研究の手法となる価値があることを説明する。そのため、中国の古典を取り入れ、楊向奎を主に、先人たちの先行研究の紹介から始める。大一統思想の形成と発展、中国の文化、政治に対する影響を詳細にする。大一統思想の現代価値について、牛潤珍、王萍などの研究を用いて分析する。また、大一統思想の政治的影響について、中国政府の公式文書と、郭曉光、栾雪飛等の研究を参考にする。

中台関係における「一つの中国」原則に於ける中台各自の思惑について、中台の公式文書を主に議論を展開する。また、中台関係研究分野で権威がある台湾の張亜中教授の研究を重点に参考し、台湾の「一つの中国」認識の変遷を考査する。台湾の主体意識と「脱中国化」について、劉国深教授の研究を重点に参考し、張亜中、張万余などの研究を用いて研究を取り込む。加えて参考資料として、人民日報などの新聞紙と、九二共識に関する文献、中台双方の公式見解など、中台の動向を反映する文献・論文を参考にする。

【本論文の構成】

一章では、大一統思想に関する先行研究に基づいて、大一統思想の形成と発展、その歴史的な価値、現代的な価値、及び現代の政治思想に与えた影響について分析、考察した。結果、大一統思想は、今に至っても中国の政治理念に影響を及ぼす重要な政治的思想であると共に、それは中国人の国家に対する認識を形成させていることが認められた。史実に合せて、「分裂」を混乱、内紛、戦争といったマイナ斯的な印象である一方、「天下一統」の時代こそ、中国に繁栄をもたらす時代であり、「統一を讃え、分裂を仇す」民族性と関連

付けた。故に、大一統思想は本論の分析の手法に値すると考え、大一統思想の視点から、「一つの中国原則」を主な研究対象とし、中台関係を分析した。

二章では、中台の公式文書に基づいて、先行研究と合せて、中台それぞれの「一つの中国」原則に対する見解や行動とその違いを分析、中台が「一つの中国」原則の中に潜ませている思惑を、大一統思想の視点で分析した。中国側は台湾の独立を危惧し、「一中各表」を認めず、台湾側に「一つの中国」原則の堅持を強いている、ことを明らかにする。大一統思想で中国側の行動を分析すると、中国政府の「一つの中国」原則への堅持は、現在、中華人民共和国が中国を統治していること、並びに、それが、「正統」な政権であることを、国民にアピールすることが大きな要因であることがわかる。中国から独立しようとする動きは、中国の「大一統」局面を破壊し、また、中国政府の統治の正当性が揺るがしかねない。故に、中国政府としては、それを看過できない。一方台湾側は、「一つの中国」原則を「一中各表」として解釈し、中華民国は全中国に主権を及ぼしており、自分こそが中国を統治する「正統」であることを主張した。しかし、三章でも述べたように、この「一つの中国」原則に対する認識も「脱中国化」により、徐々に変化していき、時代とともに希薄化されていった。

三章では、先行研究に基づいて、台湾の「脱中国化」現象による「一つの中国」原則への認識の変遷を分析し、さらに「脱中国化」を政治文化と文化教育に分けて、その影響を分析した。そして、大一統思想と主権国家概念の違いを分析した上で、台湾側の意識の変化は、中国に飲み込まれることを危惧し、中国から距離を置き、自主性を保ちたいため、「脱中国化」を図らい、中国の伝統文化と思想を捨て、西洋の主権国家概念を武器に、台湾の政治的主体性を守ろうとする行動だと思われる。

終章では、前文の分析が導いた結果をまとめ挙げた上で、「離れつつある台湾と中国」と「揺らぐ“現状維持”」の二つの結論を出している。最後は中台関係の今後について、「戦争、放棄、回帰」という三つの可能性を示している。

参考文献

【日本語文献】

- 『漢書・董仲舒列伝』『漢書・中巻』筑摩書房、1978年
『世界文学全集—五経・論語集』筑摩書房、1970年
日原利国 『春秋繁露』明德出版社、1977年
若林正文 『台湾——変容し躊躇するアイデンティティ』ちくま新書、2001年
濱久雄 『莊存與の公羊思想』『日本中国学会報』第32集、1980年、214-226

【中国語文献（簡体字）】

- 反分裂国家法[M]. 中国法制出版社, 2005.
刘国深. 当代台湾政治分析[M] 九州出版社, 2002
刘国深. 台湾政治概论[M] 九州出版社, 2006
杨向奎. 大一统与儒家思想[M] 北京出版社, 2011
中华人民共和国国务院新闻办公室. 中国的民族政策与各民族共同繁荣发展[M]. 人民出版社, 2009
陈喜波, 韩光辉. 中国古代“大一统”思想的演变及其影响[J] 中共中央党校学报, 2005, (03): 58-63
成正. 从国际法“主权、承认、继承”来探讨“一个中国”原则[J] 江苏省社会主义学院学报, 2009, (05): 65-68
董小苹. 台湾意识演变过程中的台湾青少年民族认同感发展[J] 探索与争鸣, 2009, (11): 80-83
郭晓光, 栾雪飞. “和平统一、一国两制”对传统文化的继承与超越[J] 理论探讨, 2009, (06): 15-17
葛勇平. 法学视野下一个中国原则的完整内涵和要求[J] 学习与探索, 2013, (07): 68-73+0+4
国务院台湾事务办公室. 台湾问题与中国的统一[J]. 中华人民共和国国务院公报, 1993, 25(20): 946-959
国务院台湾事务办公室. 一个中国的原则与台湾问题[J]. 中华人民共和国国务院公报, 2000(1): 8-14
计秋枫. “大一统”: 概念、范围及其历史影响[J] 光明日报, 2008-04-27, (007)
孔祥文. 邓小平“一国两制”构想的传统文意蕴[J] 社会科学战线, 2005, (01): 289-293
李佑球. 试论“大一统”思想与中华民族凝聚力[J]. 湖南社会主义学院学报, 2010(6): 39-41
刘大禹. 蒋介石对1958年炮击金门的应对——以《蒋介石日记》为中心[J] 台湾研究集刊, 2012, (01): 64-71
刘国深. 两岸政治僵局的概念性解析[J] 台湾研究集刊, 1999, (01): 1-7
刘国深. 两岸关系和平发展新课题浅析[J]. 台湾研究集刊, 2008, (04): 1-6
刘国深, 王家明. 蔡英文上台后台湾政治冲突扩散化研究[J] 台湾研究集

- 刊,2017,(01):1-8
- 牛润珍. 儒家大一统思想的历史作用与现代价值[J] 河北学刊,2001,(01):50-52
- 孙代尧. 论“一国两制”的传统文化意蕴[J] 理论探索,2008,(02):15-17+31
- 陶文钊. 美国的“一个中国”政策[J] 和平与发展,2010,(06):19-27+71
- 王建民. 关于“台湾意识”与“台湾主体意识”问题的讨论[J] 北京联合大学学报(人文社会科学版),2008,(04):27-33
- 王萍. 论中国接受马克思主义的深层文化机制[J]. 河南社会科学, 1996(3):18-21
- 王文光. "大一统"中国发展史与中国边疆民族发展的"多元一统"[J]. 中国边疆史地研究, 2015, 25(4):23-30
- 王争印,张学俊. 蒋氏父子与“一个中国”[J] 人文杂志,2001,(03):14-19
- 严安林. 蔡英文上台后的两岸关系走向[J] 台湾研究,2016,(01):4-5
- 张德明. 论美国坚持“一个中国”政策的原因[J] 武汉大学学报(人文科学版),2008,(01):94-101
- 张践. 儒家“大一统”思想是中华民族统一的政治基础[J] 西北民族大学学报(哲学社会科学版),2013,(06):28-31
- 张万余. 1958 年金门炮战与“一个中国”的原则[J] 河南师范大学学报(哲学社会科学版),2000,(06):61-65
- 张亚中. 危险的“文化台独”路线[J] 台声,2016,(09):56
- 张亚中. “文化台独”会断了台湾的慧命[J] 台声,2016,(12):55
- 周叶中,祝捷. 关于大陆和台湾政治关系定位的思考[J] 河南省政法管理干部学院学报,2009,(03):20-26
- 褚静涛. 台湾地位的国际法依据[J] 现代台湾研究,2010,(01):7-14
- 祝捷. “一个中国”原则的法治思维析论[J] 武汉大学学报(哲学社会科学版),2016,(02):107-112
- 孙立极. 多项便利台胞措施 推动两岸交流融合[N] 人民日报,2017-05-11(011)
- 王平. 台湾观光业一年损失 600 多亿[N] 人民日报海外版,2017-06-23(004)
- 王尧. 台湾地区今年不能参加世卫大会的责任完全在民进党当局[N] 人民日报,2017-05-09(006)
- 徐隽. 习近平致信祝贺全国台湾同胞投资企业联谊会成立十周年[N] 人民日报,2017-05-25(001)
- 杨家鑫. 海基会去函海协会, 未提“九二共识”, 两会续停摆[N] 中国时报, 2016-9-13(A9)
- 张志军. 指引方向 坚定信心 克难前行[N] 人民日报,2016-11-03(011)

【中国語文献（繁体字）】

- 林濁水. 統治神話的終結 前衛出版社; 1991
- 謝長廷. 謝長廷新文化教室 月旦出版公司; 1995
- 王美英. 台湾文化斷層 稻鄉出版社; 1990
- 張亞中. 剝復之間: 兩岸核心問題探索 生智出版社; 2012

張亞中．兩岸統合論生智出版社；2000

謝敏捷．唯一選項或民主選擇台北、北京、華府關於兩岸關係前景的爭議 中國大陸研究；(2001 / 09 / 01), P27 - 40

韋政通．是文化危機，抑或是文化重建？中國論壇；(1991 / 05 / 01), P99

周陽山．“不統不獨不武”與統合前景 臺灣民主季刊；(2008 / 06 / 01), P141 - 148

中華民國行政院大陸委員會 公式サイト <https://www.mac.gov.tw/Default.aspx>